



令和8年度  
みなさんにおすすめしたい本

中学年

板橋区教育会学校図書館研究部  
板橋区立図書館児童担当者

# 令和8年度 みなさんにおすすめしたい本

中学年向け

板橋区教育会学校図書館研究部  
板橋区立図書館児童担当者会

No.	書名	作者	出版社	記号
1	海でつばさを手に入れる 5300万年前に始まったクジラの挑戦	中村 玄／作	理論社	E
2	恐竜のあたたまの中をのぞいたら 脳科学でさぐる恐竜の感覚	大島 英太郎／作	福音館書店	E
3	ことばコレクター	ピーター・レイノルズ／作	ほるぶ出版	E
4	せかいでさいしょにズボンをはいた女の子	キース・ネグレー／作	光村教育図書	E
5	戦争が町にやってくる	ロマナ・ロマニーシン／作	ブロンズ新社	E
6	たべてみて！ フリーダ・キャプランがひろげた食のせかい	マーラ・ロックリフ／文	BL出版	E
7	津波!!命を救った稲むらの火（他1冊）	小泉 八雲／原作	汐文社	E
8	ヒョウのハチ	門田 隆将／ぶん	小学館	E
9	ブランダでわたをつくったよ そだててつむぐ綿花	あおき あさみ／さく	福音館書店	E
10	ライオンになるには	エド・ヴィアー／さく	BL出版	E
11	レッド あかくてあおいクレヨンのはなし	マイケル・ホール／作	こどもの未来社	E
12	やまをうごかしたミン・ローさん	アーノルド・ローベル／さく	好学者	E
13	ペット探偵事件ノート 消えたまいごねこをさがせ	赤羽 じゅんこ／作	講談社	917カ
14	<u>たい焼き総選挙</u>	新井 けいこ／作	あかね書房	917ラ
15	小学校がなくなる！	麻生 かつこ／作	文研出版	917リ
16	大坂城のシロ	あんずゆき／著	くもん出版	917シ
17	ケータイくんとフジワラさん	市川 宣子／作	小学館	917フ
18	<u>まだまだここから</u>	宇佐美 牧子／作	ポプラ社	917サ
19	AIロボット、ひと月貸します！	木内 南緒／作	岩崎書店	917ヤ
20	あしたもオカピ	斉藤 倫／作	偕成社	917ヤ
21	リリの思い出せないものがたり	たかどの ほうこ／作	ポプラ社	917ヤ
22	おとな体験授業？	なががわ ちひろ／作	アリス館	917カ
23	タミーと魔法のことば	野田 道子／作	小峰書店	917タ
24	俳句ガール	堀 直子／作	小峰書店	917チ
25	みんなふつうで、みんなへん。	栞野 浩一／作	あかね書房	917ヌ

☆リストの作成にあたっては次のようなことをめやすとして本を選びました。

- 1 たのしく、おもしろく読め、子どもの気持ちにあった親しみやすい本
- 2 子どものねんれいに合った、読みやすく夢のある本

3 みんなが知っている有名なものがたりは、できるだけリストにいれないようにしました。

読書は、人生をより深く生き抜く力を身につけます。より多くの本との出会いを重ねるよう願っています。今回も皆さんが、本を選ぶ何らかの手がかりになるようにと、区内の小学校の先生と区立図書館の児童担当者でこの一覧表（改訂版）を作成しました。また、区立図書館や学校図書館には、よい本がありますので、ぜひ読んでみてください。

	No.	書名	作者	出版社	記号
物語	26	ごいっしょさん	松本 聡美/作	国土社	91マツ
	27	角が曲がったみつき二号	麦野 圭/作	文研出版	91ムキ
	28	介助犬チェリーのパピーウォーカー	山口 理/作	文研出版	91ヤマ
	29	ルイージといじわるなへいたいさん	ルイス・スロボドキン/作・絵	徳間書店	93ス
	30	ハンナの学校	グロリア・ウィーラン/作	文研出版	93ホ
	31	父さんのことば	パトリシア・マクラ克蘭/作	リーブル	93マ
	32	こわいオオカミのはなしをしよう	ウィリアム・マククリー/作	岩波書店	93マ
	33	口ひげが世界をすくう?!	ザラ・ミヒヤエラ・オルロフスキー/作	岩波書店	94チ
	34	宿題ロボット、ひろったんですけど	トーマス・クリストス/作	あかね書房	94キ
	35	世界一の三人きょうだい	グードルン・メプス/作	徳間書店	94キ
ことば・詩	36	へいわとせんそう	たにかわ しゅんたろう/ぶん	ブロンズ新社	E
	37	絵本かがやけ詩（全5巻）	小池 昌代/編	あかね書房	E
	38	コトノハ町はきょうもヘンテコ	屋田 弥子/作	光村図書出版	91ヒル
社会・自然科学	39	おかえり、ウミガメ	高久 至/写真・文	アリス館	E
	40	チャールズ・ダーウィン、世界をめぐる	ジェニファー・サームズ/作	あかつき教育図書	E
	41	ぼくは本のお医者さん	深山 さくら/文	佼成出版社	02
	42	天国にとどけ!ホームラン	漆原 智良/文	小学館	36
	43	伝え守る アイヌ三世代の物語	宇井 真紀子/写真・文	少年写真新聞社	38
	44	ホタルの光をつなぐもの	福岡 伸一/文	福音館書店	48
	45	まぼろしの動物ニホンオオカミ 小学生、なぞのはくせいの正体を追う	たけたに ちほみ/文	Gakken	48
	46	プラスチック惑星・地球	藤原 幸一/写真と文	ポプラ社	51
	47	もしも深海でくらしたら	山本 省三/作	WAVE出版	55
	48	動物の義足やさん	沢田 俊子/文	講談社	64
	49	錦鯉を創る 新潟から世界へ	松沢 陽士/写真と文	小学館	66
	50	数え方のえほん	高野 紀子/作	あすなろ書房	81

※ 板橋区立図書館の本は「記号」で分類されています。

※ 書名にアンダーラインのある作品は、今年度選ばれた作品です。

1



## 「海でつばさを手に入れる」

5300万年前に始まったクジラの挑戦」  
中村 玄／作  
箕輪 義隆／絵  
理論社

海の王者 クジラ の進化の始まりは、  
今から 5300万年前。ほにゅう類が水中にえさ場を見つけたことがきっかけでした。ある生き物のとくちょうがどのように進化して、次の時代の生き物へとつながったのかを知ることができます。

2



## 「恐竜のあたまの中をのぞいたら 脳科学でさぐる恐竜の感覚」

大島英太郎／作  
河部壮一郎／監修  
福音館書店

ぜつめつした恐竜たち。動いているところはもう見られないけれど、頭の化石を調べていくと、恐竜が生きていたころの様子を知る手がかりがあって、どんなふうにくらしていたか想像できる。

研究の世界をのぞいてみよう！

3



## 「ことばコレクター」

ピーター・レイノルズ／作  
なががわちひろ／訳  
ほるぷ出版

ジェロームは、言葉をあつめる「ことばコレクター」。すてきな言葉をあつめるとは、スクラップブックにきれいはります。ところがある日、せっかくあつめた言葉がごちゃまぜに！

でも、ごちゃまぜの言葉をつなげてみたら…？



### 「せかいでさいしょに

### ズボンをはいた女の子」

キース・ネグレー／作  
石井睦美／訳  
光村教育図書

むかしむかし、ほんの少しむかし。女の子はズボンをはいてはいけませんでした。「そんなのおかしい！」と思ったメアリーは、ズボンをはいてでかけます。すると、みんなは…。アメリカであった、ほんとうのおはなしです。



### 「戦争が町にやってくる」

ロマナ・ロマニーシン／作  
アンドリー・レシヴ／作  
金原瑞人／訳 ブロンズ新社

ロンドは、やさしい人がたくさんすんでいて、にぎやかな町です。そんな町に戦争がやってきました。花はかかれて、にぎやかだった町はまっくらになり、みんなげんきをなくしました。それでも町をまもろうと、ちからをあわせて戦争にたちむかいます。



### 「たべてみて！」

フリーダ・キャプランがひろげた「食のせかい」  
マール・ロックリフ／文  
ジゼル・ポター／絵  
福本由紀子／訳  
BL出版

キウイフルーツにたねなしスイカ、スナップエンドウにマッシュルーム。みなさんはたべたことがありますか？この本は、スーパーでよく見るやさしいやくだものをアメリカでさいしょに売りはじめた女の子のひと、フリーダ・キャプランのおはなしです。

7



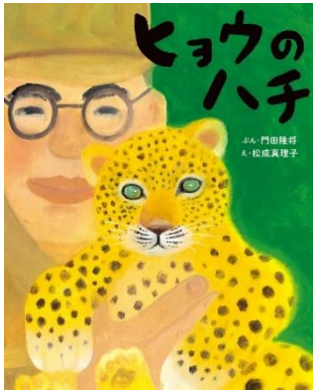
「津波！！命を救った稲むらの火」

小泉八雲／原作  
高村忠範／文・絵  
汐文社

ある日、村で地震が起こった。小さな揺れだったため村人は気にしていなかった。しかし、津波が来ることにいち早く気づいた五兵衛が、村人を守るためにした行動とは…。

これは、江戸時代に起きたほんとうのおはなし。

8



「ヒョウのハチ」

門田隆将／ぶん  
松成真理子／え  
小学館

戦時中、日本兵に拾われた赤ちゃんヒョウのハチ。動物園に引き取られると、またたく間に人気者に。しかし、ハチを待ち受けていたのは悲しい未来でした。

平和の大切さを考えるきっかけになる、本当にあったお話です。

9



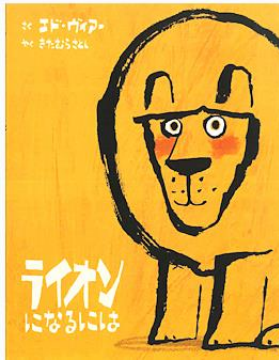
「ベランダでわたをつくったよ」

そだててつむぐ綿花  
あおき あさみ／さく  
福音館書店

モモがとなりのおばあちゃんからもらった小さな綿花のたね。育てるとふわふわのわたができるんだって。ベランダでそだててみよう！

たねをまくところからわたで糸をつむぐまでのものがたりです。

10



### 「ライオンになるには」

エド・ヴィアー／さく  
きたむらさとし／やく  
BL出版

ライオンは、おそろしくて<sup>あら</sup>荒っぽく  
て、らんぼうな<sup>どうぶつ</sup>動物だと思<sup>おも</sup>っていない？  
でも、レオナルドは、詩<sup>し</sup>がすき  
で、アヒルと<sup>ともだち</sup>友達のやさしいライオン。  
ある日、他のライオン達<sup>ほか</sup>から「ど  
うもうになれ！」とつめよられ…。

11



### 「レッド

あかくてあおいクレヨンのはなし」  
マイケル・ホール／作  
上田勢子／訳  
子どもの未来社

あお  
青いクレヨンだけどラベルは「レッ  
ド」、あか<sup>あか</sup>くぬろうとすれば青<sup>あお</sup>になって、  
みんなを<sup>こま</sup>困らせ、自分<sup>じぶん</sup>も悲<sup>かな</sup>しくなっ  
てしまう。自分<sup>じぶん</sup>や友達<sup>ともだち</sup>がレッドだったら、  
どうすればいいかな？  
お<sup>たが</sup>互<sup>み</sup>いの見<sup>か</sup>えない<sup>うせい</sup>可能性<sup>はっけん</sup>を発見<sup>はっけん</sup>しよ  
う！

12



「やまをうごかしたミン・ローさん」  
アーノルド・ローベル／さく  
こみやゆう／やく  
好学社

おおきな<sup>やま</sup>山のふもとにくらすミン・ロ  
ーさんは、山<sup>やま</sup>からの<sup>らくせき</sup>落石<sup>ひ</sup>や日あたりの  
わるさにこま<sup>こま</sup>っています。そこで、  
村<sup>むら</sup>にいるけん<sup>けん</sup>じゃに山<sup>やま</sup>のうごかしかた  
をいくつか<sup>おし</sup>教えてもらいます。さて、  
ミン・ローさんは山<sup>やま</sup>をうごかすことが  
できるのでしょうか？  
さいごにくす  
つと<sup>わら</sup>笑<sup>わら</sup>えるおはなしです。

13



「ペット探偵事件ノート」

消えたまいごねこをさがせ」

赤羽じゅん子／作  
中田いくみ／絵  
講談社

ぼくのおじさんはペット探偵。  
友だちの弥生のねこがいなくなった。  
力を合わせて探すうちに知る、かつてな大人や弥生のおかあさんのつらい気持ち。

2ひきのまいごねこ事件が重なるとき、真実が見えてくる。

14

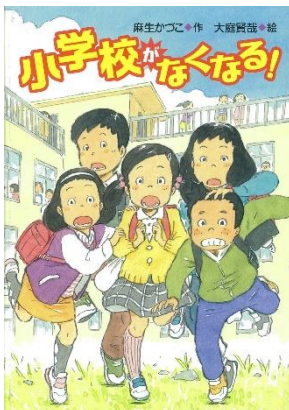


「たい焼き総選挙」

新井 けいこ／作  
いちろう／絵  
あかね書房

4年生の拓都は松丸堂のたい焼きが大好き。そのたい焼き店の店主アユミさんがぎっくりごして店がピンチに！  
店をおうえんしようと、拓都和友だちが自分たちのできることをあきらめずに、力いっぱいがんばるお話です。

15



「小学校がなくなる！」

麻生かづこ／作  
大庭賢哉／絵  
文研出版

都小学校に通う彩は、4年生になった始業式の日、若葉小学校と統廃合されることを聞かされます。彩たちは、統廃合してほしくないと市長さんにお願いしに行くことにしました。  
自分たちの学校を残すことはできるでしょうか？

16



「大坂城のシロ」

あんずゆき／著  
中川学／絵  
くもん出版

むかし、大坂城にはトラがいました。そのトラのエサにするため、犬をあつめているというわさがながれます。サチのたいせつな犬のシロも、つれていかれてしまいました。シロはどうなってしまうのでしょうか。

17



「ケータイくんとフジワラさん」

市川宣子／作  
みずうちさとみ／絵  
小学館

ガラケー電話のケータイくんが、ひとり暮らしのおじいさん、フジワラさんの家にやってきました。「ちゃららったらったら」とケータイくんがなるたびに、フジワラさんが大切にしている家具たちが大さわぎ！楽しくてほっこりするおはなしです。

18



「まだまだここから」

宇佐美 牧子／作  
酒井 以／絵  
ポプラ社

スイミングスクールの特訓生になるため、友達との遊びのさそいをことわり、がんばった蓮。でも、特訓生になったのは弟の凧。

がんばったことが実らなかった時、あなたならどうしますか。「がんばる」の意味を教えてください。



「AIロボット、ひと月貸します！」  
木内南緒／作  
丸山ゆき／絵  
岩崎書店

小学4年生の栄太のもとに、自分  
そっくりのAIロボットがやってきま  
す。かぞくや友達にはないしよ  
です。おつかいやテスト、栄太がたのん  
だことをなんでもやってくれるAIロ  
ボット。ある日二人はけんかして…。



「あしたもオカピ」

斉藤倫／作  
fancomi／絵  
偕成社

動物のねがいがかなう「よつば月」の  
夜。オカピは動物園のおりをあけて、  
ながいはながコンプレックスのゾウ  
や、ポケットのいらないカンガルーな  
どのたくさんの動物にであいます。オ  
カピはよつば月になにをおねがする  
のでしょうか？



「リリの思い出せないものがたり」  
たかどのほうこ／作  
高橋和枝／絵  
ポプラ社

風に飛ばされた「水玉のハンカチ」が  
変化して、お人形のすてきな洋服に  
なったり、お弁当の包みになったり、  
モグラのお部屋で飾られていたり…。  
小学2年生のリリとおばあちゃんのお  
友達が、「水玉のハンカチ」でつな  
がる、とても不思議な物語。



## 「おとな体験授業？」

なかがわちひろ／作  
アリス館

理科室での特別じゅぎょう。「どんなおとなになりたいか」を紙に書いてピーカーの中に入れて、ゆげがひろがってきて…。気づけばおとな体験の世界にいます。

みんなそれぞれお仕事をしながら、いろんな発見をするふしぎなお話です。



## 「タミーと魔法のこぼれ」

野田道子／作  
クボ桂汰／絵  
小峰書店

誕生日に古いトランクを買ってもらった9才の女の子タミー。ある夜、そのトランクから出てきたエンピツがしゃべりだしました。エンピツは魔法で姿を変えた魔術師だったのです！タミーの冒険が始まります。



## 「俳句ガール」

堀直子／作  
高橋由季／絵  
小峰書店

おばあちゃんが通うケアハウスで俳句と出会った4年生のつむぎ。ある日、黒板に書いたつむぎの俳句のとなりにべつの俳句が書かれていて教室はおさわぎ！五・七・五の十七音で気持ちを表す俳句の楽しさが伝わるお話。

25



「みんなふつうで、みんなへん。」

榎野浩一／作  
内田かずひろ／絵  
あかね書房

「ぼーる」と聞いて野球のボールだと思っ  
たら、お料理につかうボウルだった。聞き  
まちがいやかんちがいしちゃうのは「へん」  
かな？

みんなが「あるある」って思える短い  
お話がたくさんはっています。

26



「ごいっしょさん」

松本聡美／作  
佐藤真紀子／絵  
国土社

「ごいっしょさん」って妖怪、知って  
る？ 勇気がほしいとき、そばにいて  
パワーをくれるんだ。関くんのかいた  
絵から、クラスでそんなうわさが広ま  
った。

ふしぎであったかい、友情の物語。

27



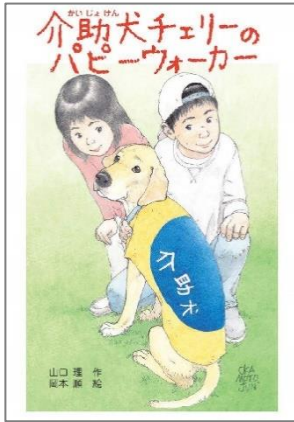
「角が曲がったみつき二号」

麦野圭／作  
高山ケンタ／絵  
文研出版

パパの影響で幼虫からカブトムシを  
育てるも、角が曲がって成長してしま  
う。そのことを友達にからかわれても  
充希と姉は協力しながら、けんめい  
に世話を続ける。

生き物を育てる楽しさ、命の大切さを  
考える物語。

28



「介助犬チェリーのパピーウォーカー」

山口理／作  
岡本順／絵  
文研出版

介助犬とは、体が不自由な人のサポートをする犬のこと。ある日、風太と家族は、将来介助犬になる予定のチェリーという犬をあずかることになりました。風太たちは、チェリーをりっぱに育てることができるのでしょうか？

29



「ルイージと  
いじわるなへいたいさん」

ルイス・スロボドキン／作・絵  
こみやゆう／訳  
徳間書店

ルイージがバイオリンの先生のところへ通うバスでは、へいたいさんが、悪い人はないかしらべています。あるときから、ルイージは新入りのへいたいさんに目をつけられてしましますが…。

30



「ハンナの学校」

グロリア・ウィーラン／作  
中家多恵子／訳  
スギヤマカナヨ／絵  
文研出版

ハンナは目が見えない『かわいそう  
な』女の子。目が見えないから学校  
にも行っていない。  
新しい先生、ロビン先生との出会い  
により、ハンナははじめて学校に行く  
ことになって…。



「<sup>とう</sup>父さんのことば」  
 パトリシア・マクラ克蘭／作  
 若林千鶴／訳  
 石田享子／絵  
 リーブル

フィオナの<sup>とう</sup>父さんはみんなに<sup>あい</sup>愛される  
<sup>せいしんかい</sup>精神科医でしたが、とつぜんの事故で  
 死んでしまいます。

<sup>ふか</sup>深く<sup>かな</sup>悲しむフィオナでしたが、<sup>ほご</sup>保護さ  
 れた犬を<sup>せわ</sup>世話するボランティアを  
 することで<sup>すこ</sup>少しずつ<sup>えがお</sup>笑顔を取り戻して  
 いきます。



「<sup>こわい</sup>こわいオオカミの  
 はなしをしよう」  
 ウィリアム・マククリーリー／作  
 佐竹美保／絵  
 小宮由／訳  
 岩波書店

マイケルはパパのおはなしがだいす  
 き。<sup>あた</sup>新しいおはなしは「ニワトリのは  
 なし」。でもマイケルは<sup>ぜったい</sup>絶対にオオカミ  
 を<sup>とうじょう</sup>登場させたい！ おはなしがどう  
 なるのかは、パパとマイケルしだいで  
 す。さて、つづきはどうなるでしょう？



「<sup>くち</sup>口ひげが<sup>せかい</sup>世界をすくう?!」  
 ザラ・ミハヤエラ・オルロフスキー／作  
 ミハヤエル・ローハー／絵  
 若松宣子／訳  
 岩波書店

おばあちゃんがなくなって、すっかり  
<sup>げんき</sup>元気をなくしたおじいちゃん。かなし  
 みを<sup>の</sup>乗りこえ、「<sup>せかい</sup>世界ひげ大会」に  
<sup>しゅつじょう</sup>出場することにしました。

ぼくもおじいちゃんが<sup>ゆうしょう</sup>優勝できるよ  
 うに<sup>てつだ</sup>手伝います。ユーモアあふれるイ  
 ラストも<sup>たの</sup>楽しい本。



「<sup>しゅくだい</sup>宿題ロボット、  
ひろったんですけど」  
トーマス・クリストス／作  
もりうちすみこ／訳  
柴田純与／絵  
あかね書房

リヌスがひろったのは、<sup>けんきゅうしょ</sup>研究所から逃げ出してきたロボット「オルビー」。オルビーは、リヌスの<sup>しゅくだい</sup>宿題をあとという間に片づけてくれます。

そんなある日、オルビーをねらう<sup>わるもの</sup>悪者があらわれて…。



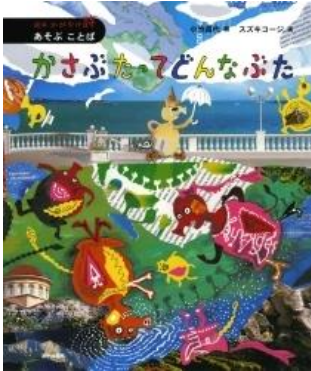
「<sup>せかいいち</sup>世界一の<sup>さんにん</sup>三人きょうだい」  
グードルン・メプス／作  
はたさわゆうこ／訳  
山西ゲンイチ／絵  
徳間書店

マキシはパパとママがいない間、まだオムツのとれない<sup>おとうと</sup>弟といっしょに<sup>だいがくせい</sup>大学生のお兄ちゃんの家でくらすことに…子どもだけの生活は大へんだけに、はじめてのことがいっぱいでしょうけんみたい！



「へいわとせんそう」  
たにかわしゅんたろう／ぶん  
Noritake／え  
フロンズ新社

<sup>へいわ</sup>平和の<sup>けしき</sup>景色と<sup>せんそう</sup>戦争の<sup>けしき</sup>景色は、ちがうところがたくさん。でも、<sup>か</sup>変わらないものもあります。あなたは、この本を読<sup>ほん</sup>んでどんなことを思<sup>おも</sup>うでしょうか？



「絵本かがやけ詩」(全5巻)

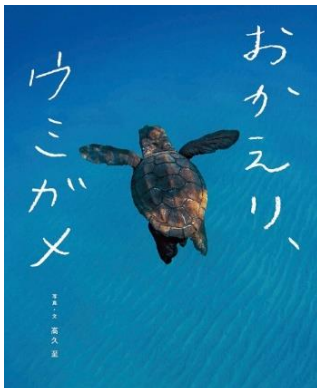
小池昌代／編  
あかね書房

わら  
笑っちゃうような詩、ドキリとする  
詩、<sup>こえ</sup>声に出す<sup>たの</sup>楽しい詩、これって  
自分のこと?と<sup>じぶん</sup>感じる詩など、<sup>いろ</sup>色々な  
詩がのっています。タイトルによって  
テーマや<sup>え</sup>絵を描いている<sup>ひと</sup>人も<sup>ちが</sup>違うので  
お気に入りの1冊を見つけてね。



「コトノハ町はきょうもヘンテコ」  
昼田弥子／作  
早川世詩男／絵  
光村図書出版

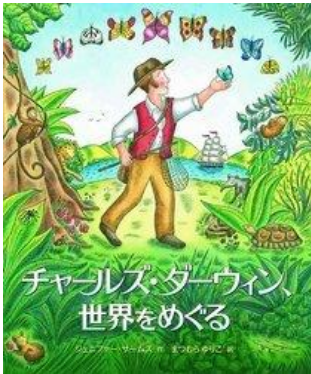
ことわざが<sup>ことば</sup>言葉どおりになってしまう  
コトノハ町に住む<sup>ま</sup>レンちゃん<sup>す</sup>のゆかい  
な<sup>まいにち</sup>毎日。「<sup>みちくさ</sup>道草をくう」とか「<sup>ひざが</sup>ひざがわ  
らう」って<sup>かん</sup>どんな感じ? 6つのお話  
に出てくることわざの<sup>い</sup>意味<sup>み</sup>がわかる  
「じてん」付き。



「おかえり、ウミガメ」

高久至／写真・文  
アリス館

ウミガメの<sup>あか</sup>赤ちゃんが<sup>すなはま</sup>砂浜を<sup>げんき</sup>元気よく  
<sup>うみ</sup>海におか<sup>すす</sup>って進んでいきます。  
それから20年後、また<sup>ねんご</sup>生まれた<sup>う</sup>砂浜<sup>すなはま</sup>  
にもどって来るのです。広い海の中  
をおよぎまわるウミガメのことがよく  
わかる、<sup>しゃしん</sup>写真えほんです。



「チャールズ・ダーウィン、  
世界をめぐる」

ジェニファー・サームズ／作  
まつむらゆりこ／訳  
あかつき教育図書

博物学者を目指す、若きチャールズ・  
ダーウィンは調査船ビーグル号に乗り  
こみ、冒険の旅にでかけます。さまざま  
な生き物との出会いと、発見をくり  
返しながらかは南アメリカをめぐり、  
ガラパゴス諸島にたどり着きました。



「ぼくは本のお医者さん」

深山さくら／文  
佼成出版社

ページが取れてバラバラになったりや  
ぶれてしまった本は、しゅうりできま  
す！ たくさんの方のこわれてしまっ  
た大切な本を、「本のお医者さん」は  
どうやってしゅうりしていくのかな？  
本についてくわしくなるおはなし  
です。



「天国にとどけ！ホームラン」

3・11を乗り越えて、バッティン  
グセンターを作った父子の物語」

漆原智良／文  
羽尻利門／絵

小学館

津波ですべてをうしなった瑛太くんと  
お父さん。2人をささえた夢はいつし  
か街のみんなの夢となっていきます。  
心の復興をかんがえる本当にあった  
お話。



「<sup>つた</sup>まも<sup>る</sup> アイヌ三世代<sup>さんせだい</sup>の物語<sup>ものがたり</sup>」  
宇井真紀子／写真・文  
少年写真新聞社

アイヌ<sup>みんぞく</sup>民族は、日本<sup>にほん</sup>におかしから<sup>す</sup>住ん  
でいる民族<sup>みんぞく</sup>です。アイヌ民族<sup>みんぞく</sup>のおじい  
ちゃん<sup>ほっかいどう</sup>は北海道<sup>す</sup>に住んでいて、なんでも  
できます。小屋<sup>こや</sup>をつくったり、さかな  
をさばいたり。しぜんのめぐみを  
大切<sup>たいせつ</sup>にしながらくらしています。アイ  
ヌ<sup>みんぞく</sup>民族<sup>せいかつ</sup>の生活をのぞいてみましょう！



「<sup>ひかり</sup>ホタルの光をつなぐもの」

福岡 伸一／文  
五十嵐 大介／絵  
福音館書店

ホタル<sup>ちきゅう</sup>が地球<sup>う</sup>に生まれたのは1億年  
前<sup>まえ</sup>。大昔<sup>おおむかし</sup>から命<sup>いのち</sup>をつなぐことができ  
たのは、えさとなる貝<sup>かい</sup>、貝<sup>かい</sup>が食べる  
藻<sup>も</sup>、藻<sup>も</sup>が育つ水<sup>みず</sup>と酸素<sup>さんそ</sup>、太陽<sup>たいよう</sup>の光<sup>ひかり</sup>が  
あったからです。  
地球<sup>ちきゅう</sup>にはすべての生き物<sup>いのち</sup>が互<sup>たが</sup>いにささ  
え合うバランス<sup>あん</sup>があり、人間<sup>にんげん</sup>もその  
一部<sup>いちぶ</sup>だと教えてくれます。



「まぼろし<sup>まぼろし</sup>の動物<sup>どうぶつ</sup>ニホンオオカミ

小学生<sup>しょうがくせい</sup>、なぞのはくせい<sup>しょうたい</sup>の正体<sup>お</sup>を追う」  
たけたに ちほみ／文  
川田 伸一郎／監修  
坂口 友佳子／イラスト  
Gakken

ある日<sup>ひ</sup>、小学生<sup>しょうがくせい</sup>の日菜子<sup>ひなこ</sup>さんが見  
つけたなぞのはくせい。もしかして絶滅<sup>ぜつめつ</sup>  
したニホンオオカミ？ ニホンオオカ  
ミのはくせいは世界<sup>せかい</sup>で5体<sup>たい</sup>しかありま  
せん。本物<sup>ほんもの</sup>だったら大発見<sup>だいはっけん</sup>です。日菜  
子<sup>ひな</sup>さんの調査<sup>ちゆうさ</sup>が始まります。  
ほんとう  
本当<sup>ほんとう</sup>にあったおはなしです。



### 「プラスチック惑星・地球」

藤原幸一／写真と文  
ポプラ社

レジ袋やストローなどに使われているプラスチック。世界中でたくさん作られ、ごみとしてすてられます。あふれるプラスチックごみでこまっている生きものを通して、地球の未来を考える写真絵本。



### 「もしも深海でくらしたら」

山本省三／作  
長根浩義／監修  
WAVE 出版

お父さんが働いている深海ステーションにとまりにきたえいとくん。光がとどかない深海はどんなところなのか、どうやって生活するのかを知ると、おどろきがたくさん！ほんの少し未来の深海の世界をしようかします。



### 「動物の義足やさん」

沢田俊子／文  
講談社

動物のための義足や体を支える装具を専門に作っている人がいます。

犬やねこのほかにも、ポニーやペンギン、うさぎやたぬきなど、体の不自由な動物がもう一度元気に動けるようになるため、どんな手助けをしているのでしょうか。



「錦鯉を創る 新潟から世界へ」

松沢陽士／写真と文

小学館

新潟県の雪深い土地で美しい色の鯉  
 が生まれました。よく見る黒い鯉では  
 なく、色あざやかな鯉はいったいどう  
 やって生まれたのでしょうか。世界中  
 で愛される「錦鯉」がどのようにつ  
 くられるのか、よくわかる写真絵本で  
 す。



「数え方のえほん」

高野紀子／作

あすなろ書房

同じ動物なのに、ひつじは「一匹」、牛  
 は「一頭」。どうして数え方がちがう  
 のかな？ 知っているようで、知らない  
 身近な日本語の数え方についての本  
 です。いろいろな数え方を知っていれ  
 ば、みんなにじまんでできるかも？

令和8年度

みなさんにおすすめしたい本

中学年

令和8年4月発行

編集 板橋区教育会学校図書館研究部

板橋区立図書館児童担当者会

発行 板橋区立中央図書館